

特67

440

賣品

敬神大意

013974-000-5

特67-440

敬神大意

小林 泉/著

M21

ABB-0221



No. 1109



敬神大意

大空の中を觀れば、日月星辰順列して、萬古其度を
 或は輾轉して晝夜をなと、光輝を放て、千秋其光を易ふる
 無と、或は風雲起り、或は雨雪降り、四時行はる、實は妙巧器械と
 云ふべし、何者ら此妙器械を造り、之を使用するや、神にあらせ
 して何ぞ俯して大地の上を察れば、草木鳥獸群生し、草木各其
 時を以て、花咲き實を結び、鳥は兩翼ありて空を翔り、獸は四足
 ありて地を走る、其他微細の虫魚に至るまで、其体あれば其用
 あり、蜘蛛は網を張りて飛虫を獲し、魚は鱗ありて水中に游泳
 そ、又種々の巢を造りて住み、或は木を穿ち土を穿ちて居るも
 のを視るに、其巢の構造、人智の及ばざるもの多し、然して萬類
 各雌雄あらざるものなく、子を産み實を結び、生々蕃息を實に



各妙靈物と云べし、此物各已が智ありて、之を爲にあらき、知ら
き識らき、之を爲さしむるものあり、神にあらきて、何ぞ、熟我
肉体を見よ、路を行んと欲すれば、足即歩み物を採んと欲それ
ハ手即採り、理を言んと欲すれば、口即言ひ、香を嗅んと欲それ
は、鼻即嗅ぎ、色を視んと欲すれば、目即觀聲を聞んと欲すれば
耳即聽、實に自由自在の妙用を備へたり、何者か此自在を爲さ
しむるや、人或は云はん我思ふ所を我爲となりと、是大に然ら
せ、何となれば人として老病死の三つを惡まざるものなし、之
を惡んで不老を欲それとも時至れば自老ひ、無病を欲それと
も或は病み、不死を欲それとも時至れば必免かれ、然ると
きは我身をして我思ふ如くならしむるを能はせ、又父母の子
を生む男を欲するも女を得、女を欲するも男を獲、強を欲する

も弱を得、美を欲するも醜を獲る如き、父母の意の如くならし
むるを能はせ、又自ら此所に生んと欲して生れ來るにもあら
せ、此世にあるも何年何月を経て命終ると云ふとも知らされ
は、何年以前に終る命なりしやも知ると能はせ、今日とも明日
とも知らぬ命なれども、人の智力を以て之を奈何とも爲るを
能はせ、然れば今日此世に在て、四支五官百体を備へて自由に
使用し、生活するは、我智力にて我思ふ所を我爲にあらせ、知ら
せ識らせ、之を爲せたり、何者か之を爲さしむるや、或歌に
生れ來ぬ前も生れて世にあるも死るも神のふところの中
とある如く、生るよも今日此世にあるも死るも神の命令にし
て、神の恩頼にあらせんは、一日片時も以かて、安穩に世にある
とを得んや、熟思ふて斯に到れば、神徳の洪大なる、神恩の忝な

さ、言語に盡さざるなり、藤原雅朝此歌に
さりともと寐ても覺ても頼なる愚なる身を神にまかせて
又源信法印の歌に

後の世も此世も神にまかざるや愚なる身は頼なるらん
とある如く、死生を神に依頼して神恩の忝なきを謝せざるべ
からそ、然れば其神と稱し奉るは奈何なる神を以て本原とな
し奉るか、と云に、天御中主大神、大高皇產靈大神、大神皇產靈大
神、此三柱の大神に坐々なり、此大神等は隱身に坐て肉眼を以
て窺ふと能はせ、然共御靈徳は大圓虚空中に遍滿彌綸して在
らざる所なく、日月星辰の洪大なるも、草木虫魚の微細なるも
悉皆此大神の玄化妙用に資らざるはなし、故に之を造化の主
宰と云ふ、人の一身を以て論せれば、此大神は神魂あり、神魂は

肉眼を以て其形を視ると能き、然共路發行んと欲すれば、足即
歩み物探んと欲すれば、手即探耳、目、口、鼻時に應じて用汲な
る、是みな神魂の主宰を具故なり、天地は一身なり、此大神は天
地間の神魂にして、萬物を造々化々を具所以なる、我會をべき
なり、尙今日の此世界の成出る初より順序の概畧を述べれば、造
化大神は、未だ天地もあらざる前より坐々て、先天地と成るべ
き物の首を造り、然して伊邪那岐命、伊邪那美命と申奉る、有形
完全の大神、造り給ひ二柱の大神に、此地球を修理固成せよ
と詔り給へば、二柱の大神命令、奉りて天降り夫婦の道、發肇
め給ひて、風、火、金、水、土の五元の神、發始め、萬の神及蒼生の始祖
を生み、萬の業を創め給ひ、其終に天照皇大神、素盞鳴大神等を
生給ひけり、天照皇大神は、殊に御身の光り、明彩にして、天地

に照徹りければ貴の子汝得たりと喜び給ひて自ら御身に着
け給へ玉緒汝探りて天照皇大神に授け給ひ汝命は高天原
を知食せと事依さし給ひ天照皇大神は大君主の位に坐々て
君臣の分を定め給ひ斯て豊芦原の瑞穂の國は我子孫の次々
知を國なり行て治めよ賢祥の悠久なふ天地と共に窮りな
きぞと詔あらせ給ひ三種の神寶を副へて皇孫瓊々杵命汝天
降し給ひ此國土汝知らしめ給ひしより皇統連綿として顯世
汝知し食をそとはなりぬ素盞鳴大神も天照皇大神に亞ぎ貴
く座々して山林汝播殖し或は浮寶汝造り或は妖蛇を斬りて
世の爲種々の益を資り終に根の國汝知し食を事となり其御
子孫大國主大神國土を經營して天に功業を立給ひ皇孫の天
降り給ふに際し我知れる顯露の事は皇孫命治をべし吾は避

りて幽冥事汝治んと曰ひて幽界に入り給ひ幽界より顯世汝
守護し給ふとなりぬ此時を以て顯幽分界をとも昔傳へり
顯界とは何ぞや眼に見ゆふ此世界のを云ひ幽界とは何ぞ
や眼に見えぬ神の世界を云ふ富今汝以て云へば顯界には官
省あり府縣區郡戸長ありて津々浦々迄洩るよとなく治め給
へば幽界も自らに其狀備りて官社あり産土神のあらざる處
なく守給ひ此顯幽の守護によりて人民益生息し今日の世界
汝現を是天地開闢以來の概畧なり斯く顯幽の守護によりて
四民各其學汝修め其業を勉勵して益文明開化の域に進歩を
ふ所以は則ち國初伊邪那岐伊邪那美の二神天神の命令汝奉
して創め給へる修理固成の道を漸次全ふる所以にして取
も直さま造化の神の御心なりされば人たるものは造化の神

の御心を心として過はとなく那岐那美二神の遺業汝継ぎ其
學業を勉勵して國家の公益汝資り顯幽の神理を畏み忠孝の
道汝修めて神德皇恩の萬分一をも報い奉らんと心得ること
敬神の大意なれ然て神は天神地祇八百萬神と限りも無く坐
々とも國初より其要所に坐々給ふ御神名のみを標稱し拜詞
及想像をる處汝も畫きて之汝信者に附與を

拜詞

掛卷母長支天御中主大神高皇產靈大神神皇產靈大神伊邪那
岐大神伊邪那美大神天照皇大神素盞鳴大神皇孫命大國主大
神御歷代皇靈產土大神天神地祇乃大前爾長美母白左久
大神等乃恩賴乎蒙利奉汝實故爾喪無久事無久有經事乎尊備
喜備拜奉狀乎平介久所聞食且今母今母過犯須事乃有良本乎

婆見直聞直給比諸乃枉事罪穢乎祓比給比清米給比豆大神等
乃御心爾違波志米須天皇命乃大御旨爾負志米須家内乃者等
己我乖々有良志米須朋友親族乎始豆諸乃人等共爾神隨奈留
直伎正伎道乎履行波志米給比日爾異爾伊曾志美勤牟留業爾
功有良志米給比伊豆乃御靈乎幸比給閉止畏美畏美毛白須

明倫彙編

滋賀縣平民
神道大成教之師

著作
兼發行

林泉

近江國南生郡增田村第三番屋敷